

第19回神戸ウイングスタジアム

サッカー指導者研修会



- 主催 神戸ウイングスタジアム株式会社
主管 一般社団法人 兵庫県サッカー協会・技術委員会
ところ ノエビアスタジアム神戸（神戸ウイングスタジアム）研修室・芝生広場
日時 2014年12月23日（火・祝）10時～15時30分（受付：9時30分～研修室）
講師 小倉 隆史 氏 1973年7月6日生・三重県鈴鹿市出身
JFA公認S級コーチ(2012年度取得) FC伊勢志摩アドバイザー
サッカー元日本代表・「スーパーサッカー」等TV出演 サッカー解説者
内容 10:00 主催 森社長・HAF 昌子技術委員長あいさつ・講師紹介
10:20 ～ 11:50 実技 「育成年代における効果的な指導方法」
12:00～13:25 昼食 *受講生同志の歓談を大切にしてください
13:30～15:00 講義 「育成年代の指導について」ディスカッション
パネラー：小倉隆史・昌子 力・鈴木義章・市毛朱人 司会：三浦清司
15:10～15:30 あいさつ 終了予定





小倉隆文(おぐら たかふみ)さん

愛称はオグ。現役時代は左足での強烈なシュートが得意な事から「レフティーモンスター」(サッカーライターの子達仁が命名)と呼ばれた。

四日市中央工業高校時代は、中西永輔や中田一三と同級生で、四中工三羽鳥と呼ばれ、2000年にはジェフユナイテッド市原で3人揃って同じJリーグクラブでのプレーが実現した。以前より海外志向が強かったため、しばしばオランダでプレーする話も聞かれたが、負傷から復帰後は実現しなかった。

高校三年生の時、1991年度の『第70回全国高等学校サッカー選手権大会』で優勝し(帝京高校との両校同時優勝)、Jリーグ誕生前夜の1992年に名古屋グランパスエイトに入団した。

翌1993年には、オランダ2部リーグのエクセルシオールヘレンタル移籍^[3]し、チーム得点王となる活躍をして、オランダ1部リーグのトップチームからのオファーも来たとも言われている。しかし、本所属の名古屋からの帰国要請と、当時はアトランタ五輪出場を目標とする、U-22日本代表監督西野朗からの代表招集もあり、日本に復帰した。ファルカン率いる日本代表にも選ばれ、フランス戦では、途中出場でカズと共に2トップを組み、ゴールを奪う活躍を見せた。

アトランタ五輪予選では活躍するも、最終予選直前の合宿で右足後十字靭帯を断裂し、選手生命を奪いかねない重傷を負った。(当時怪我を負った直後の小倉が、芝の上で仰向けになり拳を地面にたたきつけて悔しがっている映像が放映された)その後、幾度の手術により1997年シーズンでの全試合欠場を経て公式戦に復帰するもゴール数の減少は隠せず、小倉を語る際にはしばしば「悲劇」の形容詞が付けられるようになった。2000年のジェフユナイテッド市原を皮切りに、東京ヴェルディ1969、コンサドーレ札幌、ヴァンフォーレ甲府と4年連続での移籍となった。

2003年に入団し、小倉にとって初のJリーグ2部(J2)挑戦となった甲府では移籍後から中心選手として活躍し、かつての弱小クラブが成績・人気両面で上昇カーブを描くのに貢献した。2005年シーズンも開幕当初はレギュラーであったものの、若手の台頭と戦術面

から出場機会を失い⁴⁾、クラブの J1 昇格の影でオフに戦力外通告を受けた。2006 年 1 月 10 日に合同トライアウトに参加し移籍先を探していたが現役続行を断念し、同年 2 月 10 日に現役引退を宣言した。引退セレモニーは、最後に所属した甲府が J1 としての初試合を行った 2006 年 3 月 5 日に、ホームスタジアムの山梨県小瀬スポーツ公園陸上競技場でのシーズン開幕戦(vs 清水エスパルス)の試合前に行われた。

選手時代の物怖じしない態度と、周囲を笑わせるような明るい性格から、引退後には、スーパーサッカーや NEWS23 などの解説者として抜擢され、テレビ中継の解説⁵⁾なども精力的に行っている。その一方で、2012 年には日本サッカー協会の JFA 公認 S 級コーチライセンスを取得⁶⁾し、将来の指導者としても修行中である。

エピソード

- 四日市中央工業高校時代の背番号は 17 番(小倉が 1 年時に 3 年生でエースの水嶋勇夫が付けていた背番号。水嶋は抜群の得点感覚を持ち、バルセロナ五輪予選代表候補にも選出されていた)であった。サッカー選手としては補欠番号の印象ではあるが、四日市中央工業高校では 17 番は今もなおエースナンバーである。
- 木訥とした風貌からか、時として「小生意気」との印象を与えることもあるが、実際の彼は非常に礼儀正しく、腰も低い。それは現役時代の試合中でもそうであった。名古屋グランパスエイト時代、ストイコビッチに試合中にコーチングを受ける時の彼は、常に直立不動の姿勢で話を聞いている。彼とは仲がよく、審判とのトラブルを起こしたストイコビッチをなだめることもあった。
- 2000 年から 2002 年にかけて、3 年連続でオールスターメンバーに選出されている。毎年チームを転々としながらオールスターに選ばれるのは珍しいことである。
- 小倉がサッカーを始める前は野球好きだったが友達とサッカーをやった事がきっかけでサッカーが好きになった。
- その圧倒的なリーダーシップと日本人としては規格外のプレイスタイルから、若き頃の中田英寿をして「尊敬する人は小倉さん」と言わしめた。
- 出演番組では、ボケを挟みながらの痛快なトークで番組を盛り上げており、同年代の元プロ野球選手・岩本勉とは、元人気選手同士で、2 人共にボケキャラで関西弁も交えるコンビのトークは絶妙である。
- フリーキックには定評があり、名古屋時代はチームメイトで当時のエース、ジョルジーニョらに「俺に蹴らせてくれ」と頼んでいる姿もピッチの上でしばしば見られた。現に現役生活の後半では FK のみならず CK などプレースキックを数多く担っている。

- 『スーパーサッカー』(TBS 系列)の 2008 年 5 月 11 日放送から小倉隆史プロデュース企画「ボレーの虎」がスタート、番組平均視聴率は 4.6%を記録した。
- 比較的結婚時期が早いサッカー選手の中では珍しく 30 代半ばまで独身だったが、2010 年 10 月 14 日放送分の『スーパーサッカー』内で自身の結婚を発表した。

所属クラブ

- 1980 年度-1985 年度 白子サッカー少年団
- 1986 年度-1988 年度 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校サッカー部
- 1989 年度-1991 年度 四日市中央工業高校サッカー部
- 1992 年-1993 年 名古屋グランパスエイト
- 1993 年-1994 年 エクセルシオール
- 1994 年-1999 年 名古屋グランパスエイト
- 2000 年 ジェフ市原
- 2001 年 東京ヴェルディ 1969
- 2002 年 コンサドーレ札幌
- 2003 年-2005 年 ヴァンフォーレ甲府

経歴

- 1992 年 9 月 5 日 - プロデビュー(ナビスコカップ) - 清水エスパルス戦(瑞穂陸上競技場)
- 1992 年 9 月 5 日 - プロ初ゴール(ナビスコカップ) - 清水エスパルス戦(瑞穂陸上競技場)
- 1994 年 5 月 22 日 - A 代表初出場(キリンカップ) - オーストラリア代表戦
- 1994 年 5 月 29 日 - A 代表初ゴール(キリンカップ) - フランス代表戦



くまのくまのくま

食部一で本八編
支謝食小

実 技

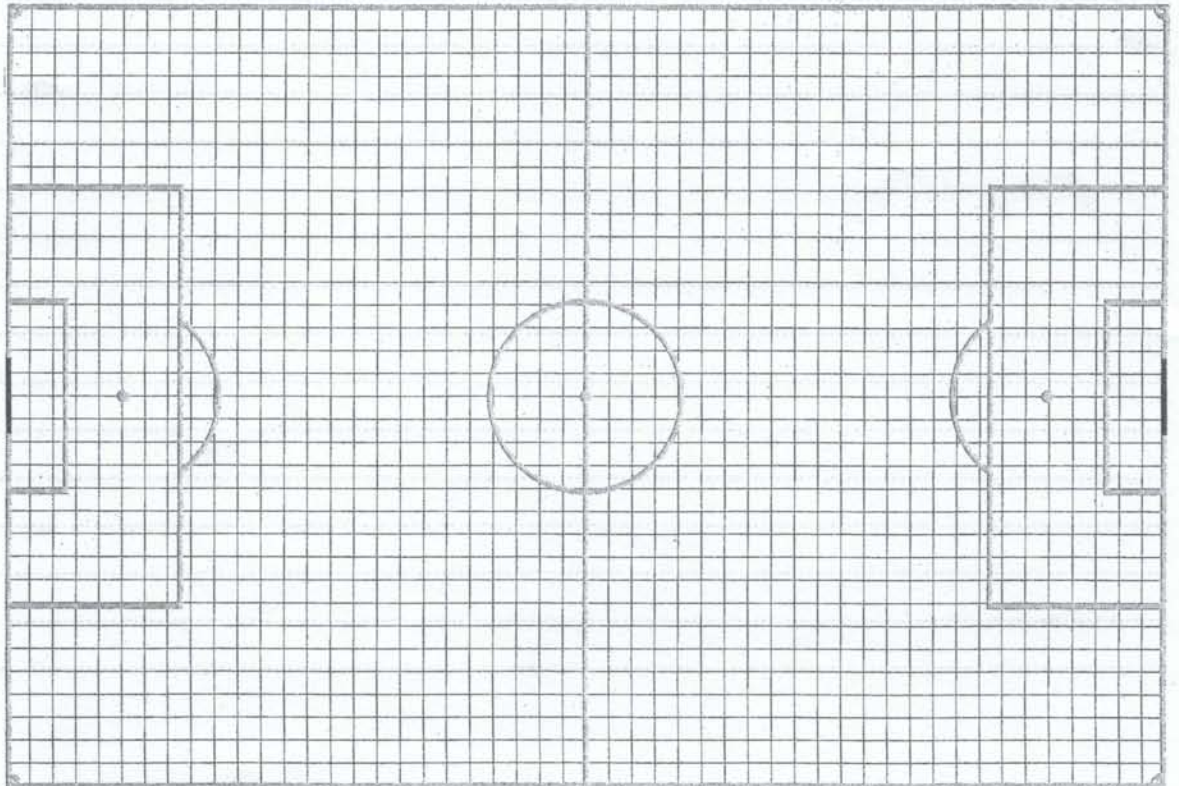
(や一に題と・書通部一はくや同・姓姓半入図圖直線・異員委謝対象) (く 千昌
(書通部一はくくく半書通部直線は直・異員委謝対象) 草部本編
(書通部一はくく半書通部直線・く一(異員委謝対象) 入本字中

空 中編

(書通部一はくく半書通部直線は直・異員委謝対象) 中前部二

くくく半書通部直線は直・異員委謝対象) 中前部二
くくく半書通部直線は直・異員委謝対象) 中前部二

くくく半書通部直線は直・異員委謝対象) 中前部二



2 ゴールへ向かうプレー

3 ボックス近辺での攻防



4 チャンスを感じる力/自分で判断してリスクを冒す勇気

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

まとめ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



メモ

■ 過去の主な講師

西村昭宏 (セレッソ大阪)・菅野 淳 (ヴィッセルフィジカルコーチ)

大野 真 (JFA指導者養成部長)・大橋浩二 (なでしこ監督)

高妻容一 (東海大学教授メンタル)・佐々木博和 (天才ドリブラー、元日本代表・フットサルでも日本代表)・名波 浩 (ジュビロ磐田)・黒田和生 (ヴィッセル神戸育成部長)

喜熨斗勝史 (名古屋グランパスフィジカルコーチ、カズ等多数パーソナルコーチ)

池上 正 (京都パープルサンガ、サッカーおたすけ隊)

ジャンパウロ・コラウッティ・アントニオジカーノ・アルベルトヴィジャ (イタリアからセリエA等コーチ陣)

